

来しをみ

迷いなく、伸び伸びと、
夢ふくらむ一年でありますように。

6歳の子の初めての書き初めに、願いを込めて。



壬午年

- 2 「ふるさとの香り」発送
- 3 自治功労表彰
- 4 年頭のごあいさつ
二瓶隆司町長
小柴修一町議会議長

6 TownNews7 みしまの出来事
地区座談会／間方地区でリーダー養成塾／三島保育所でもちつき体験／三島小6年生が議会を見学／三島小6年生が税金について学ぶ／町観光協会の田舎暮らし体験ツアー

8 民生・児童委員を改選

9 町民記者通信
輪投げ大会で交流、高清水・小山地区／新そば会でおもてなし、桧原地区／年末年始を安全に、町内で啓発活動

10 三島保育所入所のご案内
三島町奨学生募集

11 保健・子育て・健康づくり予定／地域ふれあいサロン予定／県立宮下病院から

12 民話 第34話 屁つたれ嫁
ゆめぼけつと Book Review

13 12月のスナップ
こんにちは。協力隊です。Vol.3

14 自動車の登録・検査の手続きはお早めに／会津ロイヤルプラザに申告書作成会場を開設／会津坂下警察署から／ご寄附／1月の納税／町の人口と世帯／職場のトラブル解決をサポートします

第42回
雪と火のまつり
2月8日④開催

16 除雪にご協力を
隣近所助け合って



地場産品を詰めた「ふるさとの香り」



年末恒例のもち作りを終えた西方地区の皆さん

町では12月下旬、地場産品の詰め合わせ「ふるさとの香り」を138世帯の特別町民に届けました。町観光協会に委託し、箱詰め、発送を行いました。昭和49年に当町が始めた「ふるさと運動」の一環として、お正月に召し上がったに毎年届けています。詰め合わせには、もち1kgのほか、新米、山菜加工品、地鶏炊き込みご飯の素、奥会津歳時記カレンダー、そして新しく商品化された桐炭入りうどんが詰められました。

三島町を応援してくださる皆さまへ
「ふるさとの香り」届けました。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,871人(12月1日現在)



自治功労表彰



自治功労表彰を受けた皆さん。(左から)北館長一さん、長谷川雄一さん、栗城徳光さん、西方カタクリの会代表の小柴ヨシノさん、角田一郎さんの代理で出席した瓜生美代子さん

◆功労表彰

【教育長1期4年】
北館 長一様 (西方)

【消防団員30年】
渡部 秀雄様 (大登)
長谷川 雄一様 (川井)

◆感謝表彰

【多額の寄附】
栗城 徳光様 (宮下)

西方カタクリの会

代表 小柴 ヨシノ様 (西方)

角田 一郎様

(新潟県南魚沼市)

新年名刺交換会並びに自治功労表彰式は1月6日、町民センターで行われ、功労のあった次の方々に、二瓶町長から表彰状と記念品が贈られました。



町民センターで行われた新年名刺交換会並びに自治功労表彰式

新年明けましておめでとうございます。皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



三島町長
二瓶隆司

積極的な事業展開と町民参加で、「住み続けたいふるさと」を目指す。

新年明けましておめでとうございます。

平成26年度は、第四次三島町振興計画の4年目となります。基本テーマの「住みたい、住み続けたいふるさと」を目指し、積極的な事業展開に努めます。

まず近年増えている自然災害への備えとして、これまでも重点事業として取り組んでおりますが、次年度以降には地区集会所の耐震化を年次計画で図ってまいります。

定住対策として、雇用面では、県緊急雇用創出事業が継続され、町の起業支援・雇用創出事業と併せ、町内事業所の支援に努め、安定した雇用の形成を目指して

いきます。また交流観光や六次化産業を推進し、多様な職の創出に努めます。

さらに住環境整備としては、世帯用住宅の建設に着手し、平成27年度の入居開始を予定しているほか、年次計画で単身者用住宅や宅地造成などを推進したいと考えています。

高齢者集合住宅については、平成25年度内の着工、26年度の入居開始を予定し、高齢者の方ができるだけ町に住み続けられる環境整備を進めます。

教育面については、一部複式学級となりましたが、学校支援地域本部事業を継続するほか、教育環境の整備に努めていきます。

こうした各種施策に取り組んでまいりますが、難しい課題が多いのが現状です。より大きな効果を求めるためには、町民の方々はじめ、各種団体、議会、町が知恵を出し合い、力を結集することが重要です。それを町づくりの根幹として、町政運営に今後も努めてまいります。町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

町づくりは地区づくりからと考え、地区の活性化を願って「地区支援事業」に取り組んでいます。いくつかの地区でさまざまな活動が展開され、喜びを感じております。過疎化、少子高齢化とマイナスイメージば

かりが先行していますが、周囲の豊かな資源に目を向け、前向きに暮らしを考え、活動する姿は、次世代への可能性を広げ、町づくりの方向性を示すものと考えています。

「日本で最も美しい村」連合への加盟は、登録資源の保存だけでなく、町民の方々が日常の暮らしを楽しみ、誇りに思ってこそ意味があります。そのことが、「住み続けたいふるさと」の形成につながっていくものと信じ、多くの町民が参加できる運動を展開したいと考えております。

終わりに、災害のない穏やかな一年を祈念し、年頭のあいさついたします。



三島町議会議長
小柴修一

今こそ、町民・行政・議会が知恵を出し合って課題解決を。

新年明けましておめでとうございます。平成26年の新春を迎えるに当たり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

常日頃、町議会に対してご支援ご協力を頂いていることに、衷心より感謝を申し上げます。安全で安心して暮らせる町の生活基盤整備が、年々進展しているところであります。

平成25年を振り返りますと、世界中で大きな自然災害が起きている中で、当町では大きな災害がなく安全安心に暮らせた一年であったと思います。

また議員研修として長野県栄村に行ってきました。人口は2193人、世帯数

899世帯、高齢化率45・9%、村の花「カタクリ」、

村の木「桐」という我が町に似た自立の村づくりを進めている村で、特に災害対策救助員事業、道ふみ支援事業など豪雪地ならではの施策により、高齢者でも自宅に住み続けることのできる環境づくりを推進していることに感銘を受けました。当町が進めている高齢者集合住宅も必要でありますが、もっと身近な福祉を考えていかなければならないと、大変勉強になった研修でした。

また放射能汚染による風評被害払拭のため、米の全袋検査が実施され、25年度も米の安全が確認され安堵

いたしました。しかし今、町内の水田の委託耕作を引き受けておられた会社が撤退することになり、当町の農業の根幹を揺るがす問題となっておりま。田んぼを返されても、高齢化が進み自分で耕作することもできず、また農機具なども整理してしまつたという声が、地区座談会で聞かれました。目の前に種まきの時期をひかえ、めどは立っておりません。今こそしっかりとした農業法人を立ち上げなければならぬ時だと思

います。また指定管理者制度により管理運営している美坂高原の更新時期は平成26年3月となっていますが、更新

せす撤退することになり、今後の方向は決まっております。当町の観光のシンボルであった美坂高原をどうするか、また指定管理者制度についても検討していかねければならない時であるのかもしれません。

重いきねを持って、よいしょ！ 三島保育所でもちつき体験

三島保育所で12月18日、もちつき体験が行われました。子どもたちは一人ずつ、きねを持ってもちをつきました。出来上がったもちは、きな粉もちや、あんこもちにして、みんなでおいしく食べました。当町では「団子さし」や「サイノカミ」などの伝統行事とともに、もちや団子を食べる昔からの風習も残っています。そのような文化の中で、神様の力が宿るもちを食べ、子どもたちが健やかに成長することを願います。



重いきねを持って一生懸命もちをついた子どもたち



町議会を見学した三島小6年生の児童たち

議会や役場の仕事って？ 三島小6年生が議会を見学

三島小6年生の児童たちは12月12日、町議会の12月定例会を見学しました。児童たちは初めて議場に入ると、開会を待つ議員や町職員の緊迫した雰囲気、少し緊張した様子で傍聴席に座りました。議会が開会すると、メモを取りながら見学しました。児童たちにとっては、難しい言葉もあったようですが、町のさまざまなことが決められる議会を、少し身近に感じる機会となったのではないのでしょうか。

ぼくたちも払ってるの？ 三島小6年生が税金について学ぶ

三島小6年生の租税教室は12月19日に行われ、町民課職員が税金について説明しました。児童たちは、消防や警察、ゴミ処理、道路や橋の建設など、生活に欠かせないものが税金で成り立っていることを学びました。また、今年4月から消費税が8%に増税されること、そして消費税は児童たちが生まれる前からあり、最初は3%でしたが、社会の変化に伴って増税されてきたことを知りました。



消費税など税金について学んだ6年生の児童たち

マタタビざる作りを体験 町観光協会の田舎暮らし体験ツアー

今年度6回目の田舎暮らし体験ツアーは12月7日・8日に行われ、県内外から14人が参加しました。今回はマタタビざる作りを体験。五十嵐光栄さん（滝谷）、目黒政栄さん（滝谷）、菅家藤一さん（間方）に習い、二日間にわたる作業で完成させました。食事では、そばや地鶏を味わい、宮下温泉で旅の疲れを癒やしました。参加者からは「このツアーがとても楽しみ」「次は別の形のざるを作りたい」などの声が寄せられました。



マタタビざるを完成させた参加者の皆さん

行政への理解と信頼のために 地区座談会 ご参加ありがとうございました。



町の事業について説明し、意見や質問を受けた地区座談会（写真は浅岐地区）

地区座談会は、来年度の事業計画と予算編成前の11月から12月にかけて、二瓶町長が全15会場に出席して開かれました。

今回は、町政報告事項として、高齢者集合住宅建設計画、町営住宅建設計画、空き家・住宅改修費等助成金の実績、町営バスの新たな運行体制（デマンドバス）、地区支援事業の実績、地区要望事項の取り組み状況等について説明し、質疑と意見交換を行いました。

出席した町民の方々からは、今回の説明事項に対する質問のほか、日ごろの行政に対する苦情や要望などもありました。町では、それらの声に対して誠実に対応してまいります。

交流から定住を目指して 間方地区でリーダー養成塾

田舎暮らし受け入れリーダー養成塾「會ターンズ」第4回は12月9日、間方集会所で行われました。会津地域へのIターンやUターンによる交流、定住を目指し、県会津地方振興局が実施しているもので、昭和村のNPO法人芋麻倶楽部に企画・運営を委託し、全5回のプログラムで会場を変えながら開催しています。この日は間方地区の方々のほか、会津管内の県職員や市町村職員、観光協会職員、民間事業者の方など26人が参加しました。

まず交流活動の事例として、間方地区で行われている「田舎暮らし体験ツアー」について、菅家壽一区長や、町観光協会の三浦直樹さんが発表しました。続いて、舟木義晴さん、久保田孝雄さん、長郷和雄さんが、地区づくりや山村の生活について話しました。最後にグループディスカッションを行い、交流を促す相乗効果を生み出すために、住民・行政・中間組織（観光協会やNPO団体など）の役割について考えました。参加した方々からは、「小さなことからやっ払いこう」「県や町



間方集会所で行われた田舎暮らし受け入れリーダー養成塾「會ターンズ」第4回。田舎暮らし体験ツアーを実施している間方地区の方々の話を聞いた

の支援が必要」「楽しくなければ続かない」などの声が聞かれました。

定住人口を増やすことは簡単ではありませんが、山村での楽しい交流を重ねることで、集落に活気が生まれ、やがて移り住むことにもつながる可能性を広げるのではないのでしょうか。



📷 輪投げ大会で交流 高清水・小山地区

文・写真 町民記者 菅家敏一さん（高清水）



高清水・小山健康を守る会の輪投げ大会は12月23日、集会所で開かれ、88歳から10歳までの23人が参加しました。家に閉じこもりがちなのこの季節、ゲームで楽しいひと時を過ごし、気分も明るくなるようにと行われ、和やかに談笑しながら輪投げを楽しみ、地区住民のふれあいの場となりました。これから厳しい冬を迎えるに当たり、寒さに負けず元気に過ごせることを願い、次回を楽しみに散会しました。

📷 新そば会でおもてなし 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）

桧原地区の新そば会は12月14日、集会所で開かれました。同地区の「四季の会」が主催し、子どもたちを無料で招待したほか、地区の方々だけでなく、他地区・他町村の方々も参加しました。地元で栽培されたそば「会津のかおり」を使った、けんちんそば、ざるそばのほか、あんこもち、つゆもちなど、たくさんの手料理のおもてなしを堪能しながら、支え合いの心とコミュニケーションを深め合う一夜となりました。



📷 年末年始を安全に 町内で啓発活動

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



年末年始が近づいた12月20日、警察署・消防署・消防団・交通安全母の会・防犯指導隊が合同で、町内の飲食店等を回り、事故防止や防犯対策、火災予防を呼び掛けました。また、お酒を飲む機会が増えることから、飲酒運転を絶対にしない、させないことや、トラブルが起きないように注意し、安全で穏やかに新年を迎えられるよう協力を促しました。



今回の改選で民生・児童委員となった皆さん

民生・児童委員名簿（敬称略） 任期 H25.12.1~H28.11.30

	委員	担当地区	通算任期
会長	小松 豊	西方（1）	2期
副会長	二瓶 正雄	大谷	1期
会計	若林 幸代	滝谷	2期
監事	飯塚 光義	名入・小山・高清水	2期
監事	馬場 弘子	大登・川井	2期
	小柴 信子	西方（2）	2期
	栗城 和代	宮下（上）	1期
	佐久間 宗一	宮下（下）	1期
	渡部 ミヨ子	荒屋敷・桑原・中平	1期
	佐々木 邦雄	桧原	1期
	角田 ツヤ子	浅岐・間方	1期
	秦 京子	大石田	1期
	五十嵐 和吉	早戸・滝原	1期
主任児童委員	二瓶 範子	全域	3期
主任児童委員	北館 長一	全域	1期

民生・児童委員の感謝状贈呈式および委嘱状伝達式は12月2日、福寿草で行われました。今回、5期13年7カ月の長きにわたって務めた横田源一さん（高清水）など9人の委員が退任し、新たに新任9人、再任6人、計15人に委嘱する改選を行いました。

退任した9人の方々に、厚生労働大臣からの感謝状、福島県民生・児童委員協議会からの楯が手渡されました。続いて今期の委員15人の方々に、委嘱状と委員証が手渡されました。任期は平成28年11月30日までの3年間です。

その後、三島町民生・児童委員協議会定例会を開き、小松豊さん（西方）を会長に選任するなど新役員を決めました。

退任した方々（敬称略）

委員	担当地区	通算任期	備考
横田 源一	全域	5期	会長、主任児童委員
角田 文子	宮下	1期	ケース検討委員
中丸 一雄	宮下	2期	
萩野 耕市	荒屋敷・桑原・中平	3期	
海老名 弘	桧原	2期	監事、広報委員
五十嵐 富一	大谷	3期	副会長、ケース検討委員長
久保田 昭一	浅岐・間方	3期	
秦 清吉	大石田	2期	
板橋 健也	滝原・早戸	2期	会計



退任し感謝状を受けた皆さん

三島保育所

入所のご案内

平成26年度の入所申し込みを受け付けます。



ただし特別な事情がある場合は、早朝・延長保育を実施します。

平成26年度 三島町奨学生募集

町では、高等学校、大学、高等専門学校、専門学校等の学生を対象に、三島町奨学生を募集します。希望される方は期日までに

出願手続きをお願いします。

●償還期間

就職6カ月後から月賦で6年以内での償還となります。

●出願手続き

奨学生願書、奨学生推薦調書を、平成26年2月24日までに役場総務課へ提出してください。
(用紙は同課で配布しています)

【出願・お問い合わせ】

役場 総務課
☎(48) 5511

●貸与資格

①学生または保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者

②品行が正しく、学術に優れ、健康である者

③経済的理由により就学困難と認められる者

●奨学資金の額(月額)

大学生 3万円以内
その他 2万円以内
いずれも無利子です。

●貸与期間

進学する学校の正規の修業期間

●保育の実施基準

⑦児童の保護者が次の①～⑦のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。

①居宅外で労働することを常態としていること。

②居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。

③妊娠中または出産後間がないこと。

④疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障害を有していること。

⑦町長が認める前各号に類する状態にあること。

●対象者

三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児
※平成26年度の途中入所を予定されている方もお申し込みください。

●保育時間

午前8時30分から午後4時30分まで
※土曜日は午後0時30分まで

●提出書類

①保育所入所申込書
②就労証明書
(用紙は保育所および教育委員会事務局で配布しています)

●入所申込締切

1月31日(金)
【申し込み・お問い合わせ】

三島保育所

☎(48) 5501

教育委員会
☎(48) 5599

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎(48) 5565



実施予定

4カ月児健診

1月21日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院
2月18日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

2月27日(木) 13:10～ 町民センター
【対象】乳児、1歳6カ月児、2歳児

足腰げんき教室

▶室内運動編

1月16日(木) 13:30～ 町民センター
2月12日(水) 13:30～ 町民センター

▶水中運動編

1月22日(水) 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)
2月19日(水) 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)

機能訓練会

2月26日(水) 14:00～ 福寿草

心の健康相談(※事前申し込み必要)

1月27日(月) 13:30～ 福寿草
2月28日(金) 13:30～ 福寿草
【申込先】町民課 ☎(48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成25年度健康づくり年間予定表(ピンク色の一枚刷り)から転記しています。

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン

1月10日(金) 10:00～ 浅岐集会所

大石田友遊サロン

1月30日(木) 10:00～ 大石田生活改善センター

☎町社会福祉協議会 ☎(52) 3344

県立宮下病院から

新年のごあいさつ

黒沢 正喜 院長



新年の初めにあたり、ごあいさつを申し上げます。昨年中、宮下病院後援会をはじめ、地域の皆さまより当院に賜りました御厚情と御支援に対しまして、職員一同より御礼申し上げます。

昨年は、昨今の医師不足の影響を受けて、当院の常勤医が従来の5人から3人に減ったため、やむなく外科外来を休診にし、近隣診療所への診療応援の回数を大幅に減らさざるを得ませんでした。地域の住民や関係者の皆さまに多大なご迷惑をかけましたことを、改めて、陳謝いたします。また、このように常勤医が不足するなか、会津医療センターをはじめ、県立矢吹病院、高田厚生病院から多くの診療応援を頂きました。これらの病院の皆さまに深く感謝申し上げます。

現在、県では「新県立病院改革プラン検討委員会」が設置され、平成26年度から28年度まで、今後3年間の県立病院の運営方針が議論されています。そのなかで、第二次救急医療機関として地域の救急医療に協力すること、また、へき地拠点病院として地域の診療所や特別養護老人ホームを支援することなどが、宮下病院の果たすべき役割とされました。

それらの役割を果たすためには、常勤医の数の確保が必要です。来年度の常勤医を増やすべく、病院局が中心となり、昨年中から各方面に働きかけています。昨年の暮れには、管内4町村の首長さんが、医師増員の要望書を持って佐藤雄平知事に陳情してくださいました。御多忙のなか、ありがとうございました。

その他、当院では平成27年度内の完成を目指して、耐震補強に関する調査、および工法の検討を進めていますが、本年には工法が決定し、実施設計に着手する予定です。

宮下病院は、「心ある医療」の理念のもと、地域の診療所と特養ホーム等との連携をより密にして、へき地医療に貢献してまいります。どうぞ、今年もよろしくお願いいたします。

今年が、皆さまにとって素晴らしい一年になりますように。



December Memory

12月のスナップ



民話



第34話 屁つたれ嫁

話者 杉本ミツイさん（松原）

昔、あるところに、とても屁つたれの娘がいのでやっただ。それで、誰も嫁にもらい手がねぐていたが、まあ縁があつて優しい家さもらわれでいった。ほんで、あんます屁たれつと恥ずかしいと思つて耐えでいられれば、だんだん顔色が悪くなつて、

「なんだあ、あんまし氣つかうなあ。顔色思わしくねえぞ」

つて姑母さまが聞ぐがら、

「おれ、あの、屁たつちえの我慢してんだあ」

つて言うど、

「ほんなの氣にすつことねえがら、遠慮すねえでたれろ」

つて言わつちやど。

「ほんじゃ辞儀すねえで、たれべえ」

どつて、まあ、尻めぐつて、ほしてぱくつとたつちやれば、舅父つつあまも姑母さまも皆吹っ飛ばさつちまつた。

「いやいや、こんじえはしようねえがら、ちよつとすりこんでくろお」

つたれば、そうがあどつて、ス〜とすすつたら、こんだあ嫁のゲス元ますすらつちえしまつたど。

「いやはや、こんじえはしようねえぞ。いでもらつたつてしようねえがら」

づ訳で、姑母さまが送つていぐべと思つて、舟場さ行くど、船頭が舟出せねえで難儀してんだ。その屁つたれ嫁が、

「なんだよお」

つて聞ぐど、船頭さん、

「こつていう訳で、舟動がせねえで困つていんだ」

「なあんだ、そつたらもの、おれ屁たつちえ吹っ飛ばしてけつから」

どつて言うど、

「何言つてけづがる。このお、あまのくせしてえ」

ちゆわつちえ、嫁、があらりゲスふんむぐつて、パフ〜

〜とたつちやらば、はあ、舟も船頭もいっぺんに走りだしたど。

「いや〜なんだつて、これは、はあ、とても助かつた」

つて行つてしまいやつたど。舟も行つてしまつたどだし、考えでみつと、なんぼ屁たつちやつたつたつて、使ひようによつては、とても役に立つがら、やつぱ、おん出さんいんど思つて、姑母さまは送んねえで家さ戻つたど。

そいがらは、だんだん良くなり、食うものもいっぺえ食わねえでいつと、そんなに屁も出なくなつたりしたが、柿の木さも登んねえで、下がら屁たれつと、柿みんな落ちてしまうが、とても臭くて食わんにえごどもあつたりしたが、まあ、家内中仲良く暮らしたつちゆう話だ。

ざ〜と昔栄えました。

こんにちは。協力隊です。 三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

Vol.3 初めての雪国体験Ⅱ

新年あけましておめでとうございます。11月の初雪に驚いたのもつかの間、当たり前のように雪が降る日が続き町内はすっかり雪景色となりました。こちらに来るまでしたことのない雪道の運転も何度か経験し、滑つてハンドルを取られる感覚というのも少しずつわかつてきました。幸いなことにまだ危険を感じたことはないで、このまま無事に乗り切れればよいと思います。また本格的な雪かきもこちらに来てから初めて経験し、雪国での暮らしへの第1歩を踏み出したような感覚です。

以前に雪を日常として受け入れる必要があると言いましたが、三島町は冬のもう一つの試練でもある「寒さ」のほうもなかなか厳しいものがありました。私は

暑いのは平気な一方で、寒いのはあまり得意ではありません。そのため地元の埼玉にいた頃でも冬になるのが憂鬱だったくらいですが、こちらに来てから「寒さ」のレベルが違ったことを痛感しています。実際に年末年始に実家に帰つた際には、雪も全く見かけることもなく、こちらと比べると全然寒いなどと感じませんでした。また最近になって初めて意識したのですが、三島町と埼玉のほうでは気温も10℃近くも差があつたようです。それらを考えると少しでもない場所に来てしまつたと少しばかり思いますが、慣れというのは恐ろしいもので、今のところ

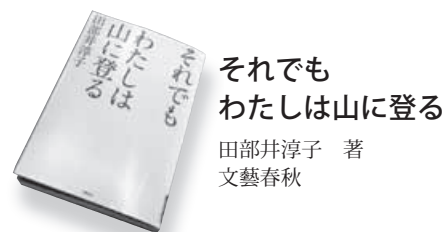


ろはこのまま普通に過ごせそうな気がしています。もちろんこれからの寒さや雪は自分にとって本当に未知数なものであるため、周りの方々から話を聞いて色々準備をしていきたいと思っています。

これからますます本格化するようになる「寒さ」と「雪」。この両方乗り越えて初めて三島町の一員になれるのではないかと思うので、弱音を吐かずに普通に生活していけるようになればよいと思います。

Book Review

●利用時間 ⑨〜⑫ 9:00〜21:00 ⑩⑪ 9:00〜17:00 ●お休み 年末年始 ⑩教育委員会 ☎ (48) 5599



歩けるうちは歩いておく。生きていうちは、一分一秒でも楽しく、やりたいことをやって生きぬきたい。エベレスト女性世界初登頂者、田部井淳子さんの人生。



2000年初夏、ヒマラヤから帰ってきて富士山に行った私は、そのあまりの汚さに愕然とした。私は何も知らなかったのだ。アルピニスト野口健さんの活動の原点。



あなたの友達で、ひっきりなしに動き回っている人はいませんか。周囲にまったく注意を払わない人はいませんか。そんな友達の行動には、原因があるかもしれません。

第 42 回
雪と火のまつり
2月8日(土)
三島町 町民運動場



職場のトラブル解決
サポートします

人事労務管理の個別化、雇用形態の変化などに伴い、個々の労働者と事業主の紛争が増えており、その内容は解雇や労働条件の引き下げに関するものから、いじめ、嫌がらせなど多岐にわたっています。

こうした個別労働紛争の防止と、職場慣行を踏まえた円満・迅速な解決を図ることを目的として、福島労働局では「個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律」に基づき、『総合労働相談コーナーにおける情報提供・相談』『労働局長による助言・指導』『紛争調整委員会によるあっせん』などの紛争解決援助を行っています。

また労働者と事業主の間で、性差別、セクハラ、妊娠等不利益の取扱い、育児・介護休業、パートタイム労働者の雇用管理等について民事上の紛争が生じた場合、当局雇用均等室が『労働局長による助言・指導・勧告』『機会均等調停会議、両立支援調停会議、均衡待遇調停会議による調停の紛争解決援助』を行っています。

職場のトラブルでお悩みの方、トラブルの発生が心配な方、人事・労務等で疑問をお持ちの方などは、お気軽に最寄りの「総合労働相談コーナー」「雇用均等室」にご相談ください。

- ◆会津総合労働相談コーナー
〒 965-0803 会津若松市城前 2-10
会津労働基準監督署内
☎ 0242 (26) 6494
- ◆セクハラ、性差別、妊娠等不利益取扱い、育児・介護休業等の相談窓口
福島労働局 雇用均等室
※女性相談員がいます。
〒 960-8021 福島市霞町 1-46
福島合同庁舎 5 階
☎ 024 (536) 4609

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯 (11 月)
2 件

110番通報のポイント

- 事件・事故が発生し110番通報を行った際、いち早く解決するために次のことをお尋ねしますので、あわてずゆっくり落ち着いてお答えください。
- ◆何がありましたか◆
交通事故、泥棒、けんかなど
- ◆いつのことですか◆
今から何分前、何時何分ごろ
- ◆どこの場所ですか◆
住所、目標となる建物など
- ◆犯人は誰ですか◆
年齢、服装、体格などの特徴
- ◆状況はどうですか◆
事件・事故の簡単な説明
- ◆あなたは誰ですか◆
通報者の住所・氏名・電話番号
※携帯電話を使う場合は次のことにご注意ください。
- ★現場を離れずに通報（離れると分からなくなる）★運転中は停止して通報（道路交通法違反になる）★しばらくは電源を切らないで（聞き返す場合がある）

街頭犯罪発生件数(1月～11月)

区 分	管 内	三島町
強 盗	1	
空き巣ねらい	2	
忍 び 込 み	6	2
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し	1	
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗	3	
自 転 車 盗	15	
自販機ねらい	2	1
車 上 ね ら い	3	
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い	2	
強 制 わ い せ つ		
街 頭 犯 罪 合 計	36	3
全 刑 法 犯	125	12

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

自動車の登録・検査の
手続きはお早めに

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。そのため、手続きに何時間もかかることもあり、申請者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしております。

名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きは2月中に行うなど、できるだけ早めに済ませていただくようお願いいたします。

☎東北運輸局 福島運輸支局
(福島市吉倉字吉田 54)
【登録関係】 ☎ 050 (5540) 2015
【検査関係】 ☎ 024 (546) 0342

会津ロイヤルプラザに
申告書作成会場を開設

税務署では、所得税、個人事業者の消費税及び贈与税の確定申告書の作成を行うための会場を開設します。

◆期間 2月3日(月)～3月17日(月)
午前9時～午後4時
※土曜・日曜・祝日を除く

◆場所 会津ロイヤルプラザ2階
(野口英世青春通り)

③税務署庁舎内には、申告書作成会場は設置していません。

☎会津若松税務署
☎ 0242 (27) 4311

1月の納税

納期限 1月31日

- ▶町県民税
第4期（普通徴収）
- ▶後期高齢者医療保険料
第6期（普通徴収）

忘れずにお納めください。
役場 町民課

ご寄附
ありがとうございました

ふるさと納税
(町へのご寄附)

- 丹 野 光 明 様
(東京都世田谷区)
- 五十嵐 竹 男 様
(会津若松市)
- 藤 岡 茂 様
(東京都板橋区)
- 金 澤 壮 一 様
(矢吹町)
- 神 保 ヨシノ 様
(会津若松市)

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

- 小 堀 和 男 様 (西 方)
- 目 黒 裕 一 様 (滝 谷)
- 山 垣 光 英 様 (西 方)
- 森 田 美智子 様 (川 井)
- 湯 田 恭 子 様 (宮 下)

町の人口と世帯
12月1日現在

人口	1,871	+2	出生	4
男	901	+1	死亡	2
女	970	+1	転入	2
世帯	834	-2	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

除雪にご協力を 隣近所助け合って

❶ 自宅周りや屋根の雪は、みんなで片付けましょう。

自宅周りの雪は、隣近所で協力し合って除雪しましょう。道路上に落ちる恐れのある屋根の雪は、特に注意し、雪崩止めを付けるか、雪下ろしをして通行人に危険のないよう十分配慮してください。

❷ 雪に埋もれたものには目印を付けましょう。

雪に埋もれて、除雪車により被害を受ける恐れのあるものは、除雪作業員に注意を促すための旗竿などの目印を付けましょう。

❸ 道路に雪を出さないようにしましょう。

道路に雪を押し出すことは絶対にやめましょう。歩行者や自転車の通行に危険を及ぼす恐れがあり、交通事故にもつながります。

❹ 消火栓・防火水槽の除雪にご協力をお願いします。

消火栓・防火水槽はいつでも使えるように除雪にご協力ください。

❺ 除雪に支障のある物は撤去してください。

道路や側溝に積んである木材や石など除雪作業に支障となるものは取り除いてください。

❻ 玄関先の除雪は各家庭で行ってください。

除雪車が通った後、玄関先に雪が残ることがあります。除雪車は広い範囲を短時間で一斉に除雪しなければなりませんので、ご理解の上、玄関先は各家庭で除雪をお願いします。

☎ 役場 産業建設課 ☎ (48) 5566

☎ 県宮下土木事務所 ☎ (52) 2311

※国道・県道の除雪に関するお問い合わせは県宮下土木事務所へ